

# 【新規設定コース】 技能・技術実践研修カリキュラム

※記載内容は変更となる場合があります

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
G1-1	【通信活用研修】技能分析スタジオ (SAS) を活用した技能分析と指導法の実践	応相談	10	2 (集合6H)
開催会場	職業能力開発総合大学校又は受講者訓練施設	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい及び到達目標	本研修では、熟達した技能を技能分析システムを用いて科学的に捉え分析し、今後の指導に活かすための手法を実習を通じて習得します。 (到達目標) ・技能を科学的に分析し、指導に活かすことができる。			
最低限必要な知識	特になし。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、概ね集合研修の1か月前に基礎的な事前課題が提示され、集合研修日に取り組んだ結果を提出いただきます。 事前課題は集合研修での解説等でフィードバックが行われます。  事前課題：分析したい技能の作業分析とその課題の整理			
	1. 科学的技能分析の概要 (1) 技能分析システムの概要 (2) 技能分析システムの基本的使用法		1 H	2 H
	2. 科学的技能分析実習 (1) 動作解析(姿勢・手順の定量化) (2) 視線解析(注視点と注意資源の分析) (3) 運動解析(精緻な運動制御の定量評価)			1 H
3. 指導へのフィードバック (1) 分析結果を活用した指導設計 (2) 指導者の観察力と声掛けスキルの育成 (3) 熟達化のメカニズムと段階的育成モデル			2 H	
			1 H	5 H
リニューアルの概要及びアピールポイント	本研修により、技能者の技能が可視化され、今後の訓練を科学的指標を活用して行うことができるようになります。			
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員(ユニット)	教授 菊池 拓男      助教 高橋隆宜			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト(予定)				